

教員個人調書(履歴書)及び教員教育業績書記載要領

教員個人調書(履歴書)及び教員教育業績書の様式は、様式第2号、第3号のとおりとし、それぞれの記載要領については、次のとおりとします。

(1) 共通事項

- ・提出書類は日本工業規格 A4 縦型としてください。
- ・年齢は記入時現在の満年齢を記入してください。
- ・記入に当たっては、パソコン等を用いて記入すること。やむを得ず手書きする場合は、ボールペン(黒)を使用し、楷書体で丁寧に記入して下さい。
- ・氏名は印鑑証明書と同じものを記載してください。
(印鑑証明書を有さない者については、パスポートと同じ氏名を記載してください)

(2) 教員個人調書

1. 国籍

- ・外国籍である場合にのみ国名を記載してください。

2. 学歴

- ・大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を有する場合、すべての学歴(授与された学位及び称号を含む)を記入して下さい。
それ以外の場合には、最終学歴を記入して下さい。
- ・博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合は、「博士課程単位取得後退学」と記入して下さい。
- ・学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記して下さい。
- ・医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員等の資格についても記入して下さい。この場合登録番号等も併記して下さい。外国における資格にあつては、正確に記入すると共に、その資格内容を日本語で併記して下さい。
- ・学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入して下さい。
- ・外国の大学等の経歴を記載する場合は、大学等の名称や学位等はアルファベットとカタカナを併記し、国名を必ず記載して下さい。職歴についても同様に扱ってください。

3. 職歴

- ・すべての職歴(自営業、主婦、無職等を含む)を記入すると共に、職名、地位等についても明記して下さい。
- ・各職歴について在職期間を明確にし、現職については「現在に至る」と記入して下さい。
- ・研究者としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記載して下さい。
- ・過去における教員組織審査において教員資格があると認められた場合には、当該審査に係る時期、大学の名称、職位及び担当科目の名称(大学院にあつては判定結果を含む)を記入して

ください。また、過去における高等専門学校¹の教員資格の認定を受けた場合には、当該認定に係る時期、高等専門学校¹の名称、職位及び担当科目の名称を記入してください。

- ・大学教員の職歴については、主な担当科目を併記してください。

4. 学会及び社会における活動等

- ・「現在所属している学会」には、申請時において所属する学会の名称を記入してください。
- ・学会及び社会における活動等のうち、専攻や研究分野等に関連する事項を記入してください。
- ・教育研究上の業績を有する場合、その内容を具体的に記入してください。

5. 賞罰

- ・学会や出版社からの表彰や職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。

6. 現在の職務に状況

- ・申請時現在の職務状況について記入してください。
- ・「職名」については、大学等の教員の場合は、「教授」「准教授」等の職位を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、「取締役」「理事」等の職名を記入してください。職名が無い場合は「—」を記入してください。
- ・勤務状況については、大学等の教員の場合は、担当科目を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、職務の内容を簡潔に記入してください。

7. 開設後の職務の状況

- ・当該大学等に専任教員としての就任以降に、当該大学以外の職に従事する場合に記入してください。
- ・常勤、非常勤を問わず、定期的に従事する職についてはすべて記入してください。
- ・他大学等の兼任教員の場合は、「勤務先」に大学名、「職名」に兼任、「学部等又は所属部署の名称」に学部学科名、「勤務状況」は週当たりの勤務日数を記入してください。
- ・「名誉職」のような場合で、定期的な勤務の無い場合は記入不要です。
- ・記入した業務のうち、常勤の職については、「教員就任同意書」を必ず添付してください。

例)	【勤務先】	【職名】	【所属部署局の名称】	【勤務状況】
	株式会社〇〇	常勤	〇〇サブチーフ	週4日
	〇〇弁護士事務所	常勤	所長	週3日
	財団法人〇〇	非常勤	理事	週1日

8. その他

- ・最終段の氏名は本人が自書のうえ、認印を押印(シャチハタ不可)してください。

(3) 教員研究業績書

1. 氏名

- ・本人が自書のうえ、認印を押印(シャチハタ不可)してください。

2. 研究分野及び研究内容のキーワード

- ・「研究分野」の欄には、科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称を用いて、研究分野の主なものを3つ以内で記入してください。
系・分野・分科・細目表は[独立行政法人 日本学術振興会]ホームページの事業のご案内>>科学研究費助成事業>>系・分野・分科・細目
[https://www.isps.go.jp/j-grantsinaid/02_koubo/saimoku.html]をご覧ください。
- ・「研究内容のキーワード」の欄には、同表の細目を参考に、研究内容を表すキーワードを5つ以内で記入してください。なお、分科レベルに該当がない場合、適宜記入してください。
- ・専攻分野についての実務等の知識や経験を有する者(大学設置基準第14条第3号及び第6号、第15条第5号、第16条第2号、第16条の2号3号に該当する者)としての審査を希望する場合には、「研究分野」の欄に「〇〇に関する実務」と記入し、「研究内容のキーワード」の欄に職務内容を表すキーワードを5つ以内で記入してください。

3. 教育上の能力に関する事項及び職務上の実績に関する事項

- ・「事項」の項には、各区分に該当する担当予定科目に関連する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。
- ・「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。
- ・「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要の他、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。

4. 研究業績等に関する事項

- ・書類作成時において未発表のものは記入できません。
- ・「著書、学術論文等の名称」の項について
 - ア. 研究等に関連する主要な業績を、「著書」「学術論文」「その他」の項に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。
 - イ. 著書については、署名を記入してください。
 - ウ. 学術論文については、国際学術雑誌、学会機関紙、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文については、その旨を明記してください。
 - エ. その他については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあたっては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあたっては当該テーマを記入してください。
 - オ. 査読付き論文については、題名の後に「査読付」と記載してください。
- ・「単著・共著」の項には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。
- ・「発行又は発表の年月」の項には、当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。

- 「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項について
 - ア. 著書については、発行所を記入してください。
 - イ. 学術論文については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。
 - ウ. 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。
- 「概要」の項について
 - ア. 当該著書等の概要を200字程度で記入してください。
 - イ. 当該著書等が共著の場合には、本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページを記入すると共に、本人の氏名(下線を付すこと)を含め著作者全員の氏名(多岐にわたる場合は主要な共著の氏名)を当該著書等に記載されている順に記入してください。また、本人の担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入してください。